

あすなる

北部地区農村環境改善センター

発行 青森市北部地区
農村環境改善センター
〒038-0054 青森市奥内字宮田 41-3
TEL 017-754-2244
FAX 017-754-2244



講座レポート

災害に備えて「徒手搬送とクロスロードゲーム」



(6/5)

「避難三原則」

- ・原則1: 自分で「状況判断」を
 - ・自分の所は大丈夫と安心しない
- ・原則2: 「その時できる最善の行動をとれ」
 - ・一番安全な場所を目指してひたすら走る
- ・原則3: 「率先避難者」となり避難する
 - ・まず、真っ先に自分が逃げ出す勇気を持つ

「最悪の状況を想定して行動せよ」講師が何度となく口にしていた言葉です。毎年1回開催されている防災講座が、三浦一郎講師を迎えて開催されました。今年も、「徒手搬送とクロスロードゲーム」で防災意識の向上を図りました。最初に「災害に備えて」という講義を行いました。①青森県東方沖及び岩手県沖北部

を震源とする地震発生確率は今後20年以内の発生確率は90%程度以上 ②青森湾西岸断層帯が震源の地震の規模はM7.3程度が予想されている ③地震・津波は「想定」を超える事態を「想定」することが必要 ④自然災害に備えるためには、自分から積極的に情報収集する習慣をつける ⑤避難所に避難する際は、最低3日分の備蓄を持参 ⑥1人1日飲料水として最低1リットル必要次に、徒手搬送(①2人で行う「左右からの抱え搬送」②1人で行う「背負い搬送」③毛布を使用した搬送法)の実技を行ないました。最後にクロスロードゲーム(ゲームの参加者は、カードに書かれた事例を自らの問題として考え、YESかNOかで自分の考えを示すとともに、参加者同士が意見交換を行いながら、ゲームを進めていく)を行いました。最後に講師から「自分の命を守り、家族を守るためには、常に備えよ!」という言葉で講座が終了しました。



左右からの抱え搬送



背負い搬送



毛布を使用した搬送法



「問題カード」と「イエス・ノーカード」クロスロードゲーム中の参加者

講座レポート

JA青森奥内地区女性部の笹餅づくり



(8/2)

猛暑の中、『笹餅』講座が開催されました。講師はJA青森奥内地区女性部部長の奥谷幸子さんです。青森市内から12名(男性1名、女性11名)が参加しました。紐で縛らない包み方が、青森県内で作られる笹餅の特徴だそうです。次のような手順で笹餅を作りました。

- ① 餅粉に砂糖、塩、こしあんを入れ、手ですり合わせながら、混ぜる



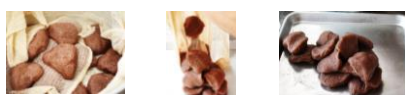
*混ぜている間に、蒸し器に水を入れお湯を沸かす

- ③ 1個の重さが決まったら、生地を丸め、平たく三角に形を整える



講師から笹の巻き方を習う

- ⑤ 20分~30分ほど蒸す。餅の色が濃くなりツヤが出て透き通る感じになるまで蒸す



*米粉や餡、火加減によって時間が違うので注意

- ② ①に少しずつ水を加えながら、両手でこねる耳たぶぐらいの固さになるまでこねる



- ④ 蒸し布を蒸し器に敷き、なるべく間をあけて蒸し器に並べる



- ⑥ 水を用意し、手を濡らしながら、熱いうちに笹の表側に餅をのせて包む



参加者からは「分かりやすく丁寧に教えてもらいました」「とてもおいしく出来たので家に帰って絶対作ります」「試食時に出された漬物が大変おいしかった」等の感想をいただきました。

猛暑の中、開催された講座です。19名の参加者が講師の話に耳を傾けていました。講師は廣田神社宮司 田川伊吹さんです。田川さんは「ここ10年ほど、お墓をどうしたらよいか等相談されることが増えてきたので、廣田神社として終活の選択肢を広げる一つとして海洋散骨等を始めた」と話して講話を始めました。

講話では、①海洋散骨 ②古墳型合葬 ③水子葬 ④祖霊社・霊璽について大変分かり易くお話してくれました。

「海洋散骨」

- ・御霊が海へと還るための祭祀(供養)として「海洋散骨」を執り行っている。
- ・委託散骨⇒遺族の代わりに神社が散骨を執り行う。
- ・合同散骨⇒複数組と一緒に乗船し散骨を執り行う。
- ・貸切散骨⇒希望日時を指定し船を貸切り散骨を執り行う。

「古墳型合葬」

- ・御霊が大地へ還るための祭祀(供養)として、古墳型の奥津城(お墓)へ「合葬」を執り行っている。
- ・委託納骨⇒ご遺族は参列せず神社が祭祀を執り行う。
- ・合同納骨⇒複数組同時に祭祀を執り行う。
- ・貸切納骨⇒希望日時を指定し一家族のみで祭祀を執り行う。

「水子葬」

- ・廣田神社の御祭神の一柱蛭子命は、イザナキ・イザナミの御子で、小さな命を宿す子の神様として崇められ、後に福の神、エビス神として再び来訪するとされている。水子安らかに慰める祭祀(供養)として「水子葬(みずこそう)」を執り行っている。

「祖霊社・霊璽」

- ・祖霊社とは、亡くなられた方の御霊をご先祖さまとして祀る社。故人の御霊が宿る霊璽を祖霊社への奉鎮し、永代に渡って神職が祭祀を執り行う。
- ・霊璽(れいじ)とは、故人の御霊を鎮める御霊代で、仏式の位牌にあたる。



船上で清祓の儀や散骨の儀を行う宮司

三内霊園内の古墳型合葬

水子慰霊祭を行う宮司

総ヒバ造りの祖霊社

参加者からは、「今年の春から始まったそうなので、これから自分ごととして考えるつもりです」「大変勉強になりました。とても分かりやすく良かったです」「墓じまいをととても重く受け止めておりません。これから考えます」等の感想を頂きました。

業務員のコーナー

▼市民大学・大学院北部校の活動紹介▼

担当 吉田

▼ボランティア活動の紹介▼



7月27日(木)今年のボランティア活動は、北中学校調理室の清掃を行いました。学級長の滝浪信さん他8名の方が参加しました。この日は、とても暑く、3階まで階段を上るだけでも汗だくな状態でしたが「運ぶ人、洗う人、拭く人」に分かれ手際よく作業を行い、お陰様でとてもスッキリ！綺麗になりました。お疲れ様でした！

編集後記

市民センターでは、にぎやかで楽しそうな声が聞かれるようになりました。市民センターまつりも各市民センターで開催される予定で、コロナ禍以前のように、講座やサークル活動が活発になってきた兆しが見られます。市民の皆様の学習活動が安全・安心に行われるよう今後も努めてまいります。

〈取材・編集〉

青森市中央市民センター1F
青森市生涯学習推進員室
TEL 017-734-0164 (内線 36)
北部市民センター担当：須藤、横内